YAMAHA 挑4 ENJOY CUP

特別規則書（案）（2019.5.17）

本大会は、多くの方にカートレースの楽しさを体感して頂くことを主眼に置き、安全にレースを楽しみチェッカーを受けて頂くことを目的としています。趣旨ご理解の上で、勝負にこだわりすぎず・マナーを守り、主催者の指示に従って頂きますようお願い致します。尚、下記イベントレース特別規則書に従って開催されます本大会につきまして、皆が協力し合い、上級者の方は初心者の方に対する配慮を怠らず、常に模範となるようなフェアプレイをお願い致します。最後に、本規則書には最低限遵守して頂きたい事項を記載しております。記載事項以外に関してもマナー・ルール・安全意識を個々で再確認して頂き、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

**第1章大会開催に関する事項**

**１競技会オーガナイザー及び開催場所・日時**

１） 主催：琵琶湖スポーツランド

２） 開催日：第1戦（6月16日）、第2戦（　月　日）、第3戦(　月　日)

３） 開催コース：琵琶湖スポーツランド

４） レース方式：４サイクルエンジン（ヤマハＭＺ２００）を使用した８０分耐久レース

**2 大会趣旨**

１）仲間どうしで安心して気軽に参加できること

２）全員が安全に楽しくレースを行い完走すること　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　３）また参加したくなる気持ちで笑顔で家路につくこと

**3 公式通知に関する規定**

本規則に記載されていない競技運営に関する実施の細目及びドライバーに対する指示細目は、本規則書付則及び公式通知によって公示されます。なお、公示の方法は琵琶湖スポーツランドのウェブサイト上もしくは開催時に掲示されます。

**第2章競技会参加に関する事項**

**1 延期、中止または取り止め及び変更に関する事項**

主催者は、大会の一部あるいは全部を延期、中止、または取り止めることができます。原則として延期され、イベントの全てが取り止めになった場合エントリー代は全額返還されます。また、エントラント及びドライバーはこれによって生じる損失についてはオーガナイザーに抗議する権利を保有しません。なお、オーガナイザーはイベントの内容を変更する権限を保有し、これに対する抗議は認められません。

**2 エントリーの受付と参加資格**

１）エントリー受付期間：レース開催日より１ヶ月前から1週間前

２）参加資格：身長１５０cm以上でルール・マナーを守れる方。１８歳以上の普通自動車運転免許保有者で有効なJAFカートライセンス・SLライセンスを保有する方または主催者が認めた者

※当日までに各ライセンスは取得下さい。

３）参加人員：１チーム２名以上

４）参加受付：所定のエントリー用紙を記入頂き、ＷＥＢもしくは開催場所窓口にて受付

５）エントリー費用

エントリー時にエントリー用紙と共にご入金ください（ＷＥＢの場合は、オンライン決済）

エントリー代：５０，０００円（税込）

フレーム、ＭＺ２００エンジン（1基）、タイヤ、レンタル代込み

**※フレームのご用意は、各カートショップより行います。**

**フレーム（エンジン付）のレンタルは、各ショップへお申込みいただくか、コースへお申し込みの場合は、フレーム（エンジン付）の選択は抽選とさせていただきます。**

**3エントリーの受理と拒否**

１） 主催者は理由を示すことなくエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とします。この場合、エントリーフィーは全額返還されます。

２） エントリーの受理は、必要事項の全てが明記された参加誓約申込書及びエントリー代が受付場所で受理された時点で主催者の参加承認が成立しますが、拒否の通知は開催日までに通知されます。

３） 一旦受理されたエントリーフィーはいかなる理由があっても返還されません。

**4 レース車両**

１） レース参加車両

シャーシ規定：一般市販品。安全上問題がないものとしリアプロテクション装着は推奨とする。

２） エンジン

ＹＡＭＡＨＡ ＭＺ２００エンジン（レンタル）

エンジンは、一律ヤマハデリバリーのものとする。エンジンは前日に各カートショップへ配布され、

搭載されたものとする。

３） ウェイトハンデ制

ウェイトハンデ制を適用し、カート重量＋全ドライバーの平均体重（装備込）により下記の最低重量のウェイトハンデ制とする。また女性の場合も重量計量が必要となります。

最低重量１５０kg以上

※ 上記の最低重量に満たしていない場合はウェイト（鉛）を取付・搭載頂きます。

４） ギヤ比

フロント２０T、リアは７３T　固定

５） 各クラスタイヤ

ドライ・・・ダンロップＳＬＦＤスリック

レイン・・・各メーカー問わずＳＬレイン

※ レインタイヤのみＳＬレイン銘柄であれば各メーカー使用可能。

※ タイヤソフナー等のタイヤの性能向上目的の塗布は禁止。

６） ガソリン

・ ガソリンは各自で用意するものとし、一般市販ガソリン指定。

※ガソリンへの添加剤等の混合は一切禁止。

７） ゼッケンナンバー

前後にゼッケンを、見やすい文字で貼りつける。

８） 車両検査

非合法な部分がありながらも車検にて発見されなかったとしても承認を意味するものではない。レース中にそれに関する疑義が生じた場合は黒旗の指示又は賞典外になる場合がある。各ドライバーは車両検査に立ち会わなければならない。

また、カート車両と装備品類は清潔でかつ正しく整備された状態でなければならない。

※非合法とは車両・エンジンの改造等。あくまでも楽しむレースという意識でご参加下さい。

**5 ドライバー装備品**

肌の露出はケガの恐れがあるため、十分に注意して下さい。

１） スーツ

FIA、FMK/FIA、CIK/FIA、JAFの公認を過去に取得したレーシングスーツ又はワンピースのメカニックスーツであることとします。

※ 過去に公認実績取得したレーシングスーツの着用を安全のため強く推奨します。

２） ヘルメット

フルフェイスヘルメットのみ使用可とします。

※ 著しい損傷・不具合等があるものは変更して頂く場合があります。

３） グローブ

４輪・カート・バイク・メカニックグローブ又作業ブローブを必ず着用し走行して下さい。

軍手、滑り止め軍手の使用は認めない。

４）シューズ

レーシングシューズ・バイク用ブーツ又はくるぶしまで覆う運動靴を着用して下さい。

**第3章競技に関する事項**

**１ フラッグ**

競技中ドライバーに対する走行指示は、下記の種類の旗に従い行われます。

① 黄旗（イエローフラッグ）

前方に危険あり、安全を確保した状態で通過せよ。追い越し禁止。

② 赤旗（レッドフラッグ）

レース中断。ドライバーは徐々にペースを落とし徐行してコントロールライン（オレンジ色ライン）手前にて一列で停止する。※赤旗中断中はピットイン・アウト禁止。

③ 緑旗（グリーンフラッグ）

競技再開の合図。コースクリア。

④ オレンジボール旗

指示された番号のカートにトラブル・不備が発見された場合のピットイン命令。改善必要箇所の修復後、再出走できる。SC中の隊列に大きく出遅れた車両などに対して提示する場合もある。

⑤ 黒旗

提示された番号のカートのピットイン命令。SC中の隊列に大きく出遅れた車両などに対して提示する場合もある。

⑥ チェッカー旗

競技終了。ダブルチェッカー（チェッカーを2度受けること）は失格行為である。

⑦ 「ＳＣ」サインボード

セーフティーカー導入。各ポストにて「SC」サインボードを提示する。

※ 提示はメインポスト・１番/３番/５番ポストにて行う。

**２ 公式練習及び予選**

タイムスケジュールに定められている時間内に各チーム参加しなければならない。

**３ スタート**

１）スタートはスタンディングスタートとする。

**４ レース中のルール**

１）コース進入・ピット進入の際は、必ずドライバーサインを行い走行車へ合図を行って下さい。また、大変危険ですので特にコースに進入する際はピット出口ホワイトラインカットしてはなりません。

２）コーナーは常に先入優先とし、追い抜きを行なう者は前方のカートの走行を妨害してはならず、また前方のカートは後続車の進路を妨害してはなりません。

３）オフィシャルが反則または妨害行為（故意なプッシング、ブロッキングその他の非スポーツマン的行

為）とみなした行為については競技長よりペナルティーが科せられる。

４）レース中は、やむを得ない場合を除きコースを外れてショートカットすることは認められません。

５）故意にコースから車両を離して走行することはショートカットとみなされます。

６）衝突を避ける為にやむを得ずコースアウトした場合は、その最も近い場所から安全を確認して再びレースに復帰する。

７）レース中にコースエリア内で停止してしまった場合、他のドライバーに自分が動かないことを示し、それらが過ぎ去ってからカートをレースの障害とならない場所に移動しなければなりません。但し、他を妨害することなく、降車せず自力で再スタートできる場合にはレースに復帰できます。

８）ドライバー交替は決められた場所で行なわなければなりません。

９）ドライバーは工具等を携帯することはできない。またピットへ工具を取りに戻ることやピットクルーがコース内に立ち入って作業することはできない。

１０） 事故や接触に見舞われたカートは、オフィシャルによって検査のために停止を命じられることがあります。

１１） トラックとピットロードを区分するバリアなどに接触もしくはコースインする際の著しくラインをカットしてはいけません。危険と判断した場合や接触した場合は安全走行義務違反としてペナルティーの対象となる事もあります。

１２）黄旗が振られている場合は、前方に停止車両がある場合であるので、十分な減速を行って、走行をする。危険な追い越しはペナルティの対象とする。

**７ ドライバー交代規定とピット規定回数**

1. 各ドライバーは、最低１周以上走行しなければなりません。

コントロールラインを1回通過しなければならない。コースインして、そのままピットに戻ることは認められない。

 コース上よりカート回収により、パドックに戻った場合はピット回数へはカウントできません。停止したドライバーが乗車してピット一旦停止ラインを通過して下さい。

２）ドライバー交代の際は必ず所定の場所までピット記入表にサインを行って下さい。なお、各所定のピットイン回数以上が認められない場合は1回あたり３周減算ペナルティーの対象となる。（書き忘れも含む）

３）全チーム対象規定ピット回数＝３回以上

**８ ドライバーサイン**

１）ドライバーサインは次の通りとし、これを怠った者に対してはペナルティーを課することがあります。

（a） コース上で停止した場合は、両手を高く振り、他の走行車両に合図する。

（b） ピットイン、ピットアウトする場合は必ず他車にわかるよう片手を頭上位置より高く上げる。

**９ 完走**

１）フィニッシュライン（各計測ライン含む）を通過する際には、ドライバーとカートは一体となっていなければなりません。

（エンジン動力で進んでいない、マシン回収時等は周回としては認められない。）

２）ドライバーはゴールラインを通過後徐々にスピードを落とし(追越しは禁止)正規のコースを走行してピットインしなければなりません。

３）完走者となった車両のみが入賞の対象となります。

４）規定の時間又は周回を終了する以前に誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点を以って競技終了とします。また遅れて（時間又は周回数）チェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、競技は規定の周回数で終了したものとして順位が決定されます。

**１０ 抗議**

方法と扱いいかなる場合にも抗議は原則として受け付けないものとする。

**１１ その他の事項**

１）場内での喫煙・火気使用について

場内にての喫煙に関しましては施設が用意した灰皿がある指定喫煙場所のみとなります。また、パドック内は特に発火の恐れのある危険物も多い為、火気使用については十分注意頂き必ずお守り下さい。

なお、指定場所以外での喫煙が発見・発覚した場合は関係するチームへ下記のペナルティーが科せられます。

**第４章損害補償**

**１）損害補償の責任について**

主催者および大会役員の業務遂行により起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷および車両の損害に対して主催、後援、協力、協賛するものおよび大会役員は一切の補償責任を負わないものとする。

**２）SLOスポーツ安全保険の加入推奨**

SLOスポーツ安全保険は(財)スポーツ安全協会が契約者となる、東京海上火災保険㈱を幹事会社とする損害保険会社10社との間に傷害保険を一括契約する。このSLOスポーツ安全保険の加入を強く推奨する。